『女性の視点から避難所を考えませんか？』第 11 回　レジュメ

◆開催日　平成 28 年 2 月 19 日（金）　10:00～12:10

◆場　所　四谷ひろば　Ｂ館１階　大人のサロン

◆参加者　　新宿区危機管理課　1名、四谷特別出張所担当
四谷ひろば避難所運営管理協議会会長、四谷四丁目町会副会長
地域住民　13 名　　計 17 名

10:00　開会

今日も危機管理課並びに出張所からご参加いただいています。また、四谷ひろば避難所運営管理協議会会長並びに、四谷四丁目副会長もご参加いただきました。ご多用の中、ありがとうございます。
今日は作業ではなく、振り返りと情報提供並びに意見交換という形で進めていきます。

10:05　情報交換会

１．**振り返り**　トイレがグラウンドで暗いし遠いし危ないということや、倉庫の備蓄品がわかりにくいことからの倉庫整理などから始まりましたが、実際に勉強していくうちに、トイレには数種類のものが用意され、外設置用とは別に部屋にもおけるセットがありました。また、小型発動機のエンジンのかけ方も見学ではなく、自分もできるという観点から取り組みました。
避難訓練では、パワーポイントで改善してきたことなどの成果も発表でき、ひろばのホームページや四谷四丁目町会のホームページからも閲覧ができるようになっています。

２．**情報提供**

①**災害伝言板**　家族と災害時に連絡をとりあう手段として紹介。3 月 5 日の消防フェスタの展示で説明をしている。参加してみてください。お招きして説明を受けることも可能です。携帯電話会社が運営するものと、ＮＴＴが運営するものは違う。

②**新宿区の資料とともに**　（四谷特別出張所担当）

・四谷地区六ケ所の避難所訓練は 11/29 のひろばの実施を最後に、無事に終了し、**［避難所訓練参加人数の推移表］の参加を得ました。（配布資料参照）**
2/10 町連定例会後に反省会を実施。**プロジェクターによる事前説明**は高評価を得た。事前の説明により、その後のブース見学が理解しやすかったという声が多かった
バケツリレーについては、ゲームではあるが、横の連携が図れて良かった。連携が図れることはとても良いことである。ただし、怪我につながることも懸念されるため、来年度は検討の余地がある。

・**［防災用品の斡旋について］**年度ごとに契約をしているため、今回配布のものは 3 月末まで
来年度は感震ブレーカーを新規に検討している。値上げや削除はない予定（補足/危機管理課）
自宅を守り、自宅で過ごすために必要なものは自主的に準備をしましょう。

・**［家具の転倒防止器具取付代の補助］器具の調達は各自の負担になりますが、**取付費は、区が負担します。ご自分で取り付けるのが困難な場合等ぜひご活用ください。

３．**消防団所属メンバーより情報提供**

過去に「ランプ坂」というＰＴＡの広報誌で特集を組んで紹介したことが、良くまとまっていたので、ご紹介したいと思います。阪神大震災のあと 1999 年のものです。
第一に被災した方からのご意見　・３時間後以内にトイレに行きたくなった。など
※別紙、ランプ坂のコピー参照

・上下水道は３か月、都市ガスは３か月、電話は１５日、電気は７日　復旧にかかった。
このことにより、トイレを実際には一番考えておかねばならない。取材写真でトイレが取り上げられないのは、あまりに汚いためであり、あたり一面にティッシュや新聞紙が散乱していた。使い捨てカイロや靴下などが一緒に捨てられると、バキュームカーが詰まってしまう。事前にルールを徹底しておかないと大変なことになる。また、電気は意外と復旧が早いので、電気調理器が便利のようだ。その他、カセットボンベ等。

・コンビニに殺到するが、レジが停電等により利用できなくなるので釣銭がいらないようにすることも必要。普段から 3000 円くらい小銭を持ち歩いていたほうがよさそうである。

・普段から心がけておくことには、ガソリンは半分になったら満タンにした方が良い。その他、台車やカート・ポリタンクの容器なども用意しておく。

・本格的な仮設トイレができるまで６時間～８時間かかったらしい。また、ビニールの袋タイプは破れて大変だった。他の自治体から応援でバキュームカーが出動された際、地元の人ではないため道路事情に詳しくなく、脇道がわからずに困った。宅急便業者の人が防災ガイドのように道案内をしてくれたらいい。１００人に１基程度あると良いらしい。

・その他、関東大震災では、遺体の処理や屎尿の処理がとても大変だった。しかし、屎尿については農家が多かったので肥料に回すことができたりした。

・アメリカでは、災害発生時に、ネットワーク化ができていて、レンタル業者にすぐに手配がされるシステムになっている。
・トイレは男女別にしたほうがプライバシーを守れる。照明は明るく、高齢者やオムツ交換、身体の不自由な方用などを検討していかねばならない。また、トイレの履物を替えたり、トイレの環境を綺麗に保つことが重要。ストレスにならないような工夫はとても大事である。

10:30　茶話会　＆　意見交換

災害時に必要なことの意見交換　※２グループに分かれて、最後に情報交換

・311 の時に出先で、エレベータを降りた際に地震があったが、まったく情報がなくて困惑した。「情報」がとても大事だと感じた。
・備蓄品の点検は、年に一度は必ず行わないと、消費期限がいつの間にか過ぎてしまう。
お煎餅やその他、賞味期限の長いものは古いものから食べて、買い足しておくことで食料が保存できる。
・火事を出さないことが大事。個々に初期消火を心がける。
関東大震災では、神田佐久間町が地域で連携をして燃え残った。奇跡の一角と呼ばれている。川が近くにあって、ポンプ車を製造する会社にあったポンプで水をひいて、力をあわせて消すことができたらしい。
・お風呂の水は初期消火にも使え、トイレの排水にも利用できるから流してしまわない方が良い
・携帯電話やスマホなどは、充電ができないと１日で使用できなくなるため、アドレスは別に控えて紙ベースにしておくことも大切。最近は覚えないで携帯任せなため。
・ひろばの園庭にトイレを常設で設置しておいたらどうか。普段は使用できないように施錠する。
⇒ひろばには、１階のトイレのほかに３階、また２階が倉庫になっているが荷物を出せば、個室としての利用ができる。
１階の誰でもトイレには、おむつ台があるが、障害を持つ方専用とし、おむつ台は別途設置する。洋式もあるが、別途、備蓄にある簡易トイレを置いたり、上置きの便座を用意したらしたら良いのではないか。最近は、和式を使えない人が増えているため。
普段から、表示するものをパウチして用意しておくと便利だと思う。　　など

その他

3/5(土)消防フェスタについて　⇒　有志で参加　承認　１０時３０分集合
参加者：8 名
※応急救護の用具は、**消防団所属メンバー**が手配。また、持参できる人は持参。

11:50　閉会

四谷**四丁目副会長**：毎回、活発な意見交換があり、喜ばしいことです。いかに日常的なことが便利なのかがよくわかると思う。その便利なことがゼロになり、野原に放りだされたらどうするのか。命に関わること、まず自分が死なないこと。家に住めなくなった人がここにくる。大勢の人が来るとなると、トイレがいかに大事かと想像がつく。特に、マンションは本当に大変だと思う。
団体で避難所で暮らすとなると、「ダメはダメ」と言える人が必要である。また、普段から「他人の力は借りないとならない」と考えていないと生きてはいけないと思う。
避難所協議会会長：普段より、近隣の町会長同士は和気あいあいとしている。災害のない時に、意志の疎通が大事である。更に大事なのは、仲良くしながら、助け合い・ゆずりあう精神が必要となるため、顔の見える会議をし続けることが大事である。
最初の立ち上げには男性の力が必要だと思うが、生活をしなければならない段階になると女性の方が役に立つと考える。トイレや食料、助け合うことが必要で、普段のこういった活動がとても大事だと思っている。いざとなったら、会長が集合できないことも想定できる。ぜひ、その点を認識していただき、今後、さらにメンバーが増え、盛り上げていただければと期待しています。

今まで一年頑張ってきたことが少しずつ形になり、母体である避難所運営協議会とともに、今度とも地道に活動していけるような気がします。ありがとうございました。

さて、今回は、課題を出させていただきました。配布の用紙に、備蓄品として必要なもの・数量・用途などを記載し、その他、家族との連絡方法や話し合ったことなどもお願いいたします。また、備蓄品をどこに置いているかなども聞いてみたいと思っていました。その他のところに、今後のことや共有したい情報がありましたら、あわせてご記入ください。無記名で大丈夫です。
提出：次回の開催よりも前に提出いただければ、当日、まとめたものが配布できます。当日でも可
用紙が足りない方は追加でお渡しします。

【次回、レディス会　　４月２７日(水)10:00～　大人のサロンにて】